

高齢社会対策の基本的在り方等に関する検討会 報告書 副題案

(報告書全体の副題)

- 尊厳ある自立と支え合いを目指して(香山委員)
- 尊厳ある自立と互助の社会を創るために(香山委員)
- 世界をリードする高齢者幸福社会を目指して(香山委員)
- 高齢者が幸福な国はみんなが幸せである(香山委員)
- 尊厳のある高齢社会への意識改革(関委員)
- 尊厳のある超高齢社会を目指して(森委員)
- 尊厳のある超高齢社会(互助と協働の社会)を目指して(森委員)

はじめに

1. 高齢社会の現状
2. 現行の高齢社会対策大綱の下で講じられた施策
3. 超高齢社会における課題

あまりに多様化する高齢者(香山委員)

もはやあなたの知っている高齢者ではない(香山委員)

- (1) 「高齢者」の実態と捉え方の乖離

団塊の世代による多様な高齢者像の形成

「高齢者」の実態とこれまでの認識の乖離

- (2) 世代間格差、世代内格差の存在
- (3) 活躍する意欲のある高齢者の不十分な活用
- (4) 地域力、仲間力の弱さと高齢者等の孤立化
- (5) 不便や不安を感じる高齢者の生活環境

高齢者が不便を感じる地域生活圏

高齢者が巻き込まれる事件の増加、認知症高齢者の増加

- (6) これまでの「人生 65 年時代」のままの仕組や対応の限界

若年期からの高齢期に向けた準備不足

「人生 65 年時代」の仕組のままの老後の経済設計や蓄積した資産の未活用

4. 今後の超高齢社会に向けた基本的な考え方

力を活かし、安心して暮らす(香山委員)

- (1) 「高齢者」の捉え方の意識改革

現役 65 歳は高齢者か(関委員)

- (2) 老後の安心を確保するための社会保障制度の確立

支え支えられる安心社会(関委員)

(3) 高齢者パワーの活用

社会を支える頼もしい現役シニア（関委員）

柔軟な働き方の実現

さまざまな生き方を可能とする新しい活躍の場の創出
シルバー市場の開拓と活性化

(4) 地域力の強化と安定的な地域社会の実現

絆力を高める「互助」コミュニティ（関委員）

「互助」によるコミュニティの再構築

孤立化防止のためのコミュニティの強化 - アウトリーチ型アプローチ -
地域包括ケアシステムの推進

(5) 安全・安心な生活環境の実現

高齢者に優しい社会はみんなに優しい（関委員）

バリアフリー、ユニバーサルデザインの深化

日常生活圏の生活環境の保障

犯罪、消費者トラブルからの保護および成年後見等の拡充

(6) 若年期からの「人生 90 年時代」への備えと世代循環の実現

ワーク・ライフ・バランスと次世代へ承継する資産（関委員）

人的資本の蓄積とその活用

資産形成とその活用による安定した老後生活の実現

おわりに